マリンレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部
マリンレジャー安全推進室
TEL 093-321-2931
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

第５４号(平成２２年１月)

気象予報に注意しましょう！

1月4日午前5時頃の干潮時に平戸市船越所在の離れ瀬に徒歩で渡った男性2名（22歳、24歳）が磯釣中、午前11時過ぎの満潮に近づくにつれ、次第に南寄りの風が強くなって時化模様となり足下まで波が被るようになったため、危険を感じ午前10時55分、携帯電話で110番通報し救助を求めました。警察からの情報により福岡航空基地所属ヘリコプター及び機動救難士が出動、午後1時頃、2名ともずぶ濡れになりましたが無事吊り上げ救助されました。（2名とも救命胴衣着用中）

現場海域には前日夕方から海上強風警報が発令中で、当日は、天気は下り坂･波も高くなる見込みである旨の天気予報が発表されていました。

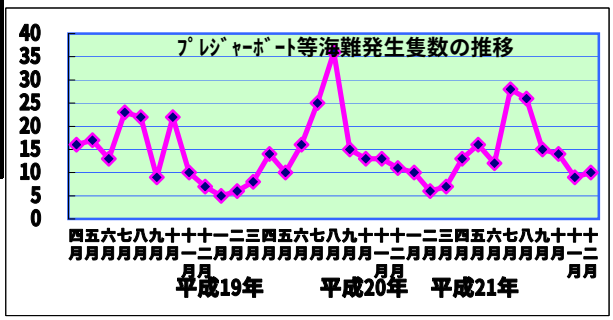
～ 事故からの教訓 ～

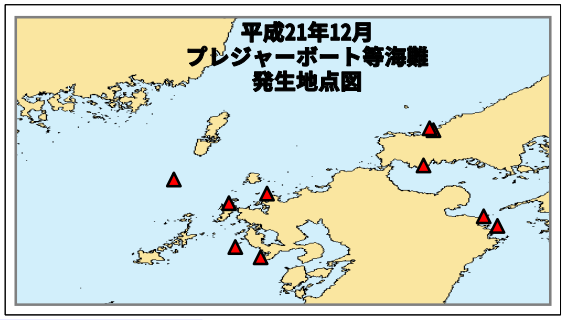
マリンレジャー（釣り）を楽しむときは、

※ 救命胴衣は常時、正しく着用しましょう。
※ 防水携帯電話や防水パックに入れた携帯電話等の連絡手段を確保しましょう。
※ 海上では天候が急変することがあるので、出発前には、最新の気象情報で釣り場の天候を予測し、注意報が発令されているときは中止しましょう。
また、常に海上模様や雲の動きに注意しましょう。

平成２１年１２月 ﾌﾟﾚｼﾞｬｰﾎﾞｰﾄ等 海難発生隻数

合 計	10隻
衝 突	1
乗 揚	1
転 覆	0
浸 水	0
推進器障害	1
舵 障 害	1
機関故障	3
火 災	0
爆 発	0
行方不明	0
運航阻害	2
安全阻害	1
そ の 他	0





平成２１年１月～１２月 マリンレジャーに伴う海浜事故者数

※１ 数値は速報値です。
※２（ ）内は死亡・行方不明者数の再掲です。

事故内容＼活動内容	遊泳中	釣り中	サーフィン中	スキューバ・ダイビング中	水上オートバイ中	その他	合計
海中転落	（ ）	28（10）	（ ）	（ ）	（ ）	2（0）	30（10）
負傷	2（0）	1（0）	（ ）	（ ）	（ ）	5（0）	8（0）
病気	（ ）	2（1）	（ ）	1（1）	（ ）	（ ）	3（2）
溺水	21（12）	1（1）	（ ）	2（1）	（ ）	8（6）	32（20）
帰還不能	4（0）	7（0）	1（0）	（ ）	（ ）	6（0）	18（0）
その他	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	0（0）
合計	27（12）	39（12）	1（0）	3（2）	0（0）	21（6）	91（32）

～ 海上荒天に備えて Vol.1 ～ 【追い波の危険】

一般的には、向かい波よりは追い波のほうが船の揺れも穏やかですが、それも波の大きさと船の大きさによっては危険な状況となることがあります。

追い波の危険　　【(社)日本海難防止協会　安全運航のいろは】より

1　プープダウン（pooping down）

船尾からの追い波の打ち込みをいいます。船体や舵などの船尾構造の耐波性も悪く、また、船尾居住区の扉などを破ることもあるので、非常に危険な現象です。

2　ブローチング（broaching to）

船が追い波で航走するときは、船と波との相対速度が小さいため船尾が波の谷、または傾斜の前面に入ったときに、急激なヨーイング（yawing、船首揺れ）をして、船体が波間に横たわることがあり、これをブローチングといいます。

船がブローチングを起こしたときに、突然他の傾斜モーメントが重なると、大きく傾斜して復原モーメントを失い転覆してしまいます。

・・次回は、追い波時の航法・・

海上荒天の際は、船長として出港を見合わせることが重要です。

海の相談室だより (七管本部海洋情報部)

コンパス図と偏差

初期の羅針盤は角度ではなく、地中海の船乗りに馴染のある１２の風向きで表わされて、きれいに装飾されていたので“風のバラ（ウインドウローズ）”とも呼ばれていました。羅針盤は、方位磁石、コンパスといろいろ名で呼ばれていますが、羅針盤だけでは航海はできません。方位がわかっても正確な地図の上で自分の位置を示せなければ、どちらへ向かえばよいのか判断できないのです。

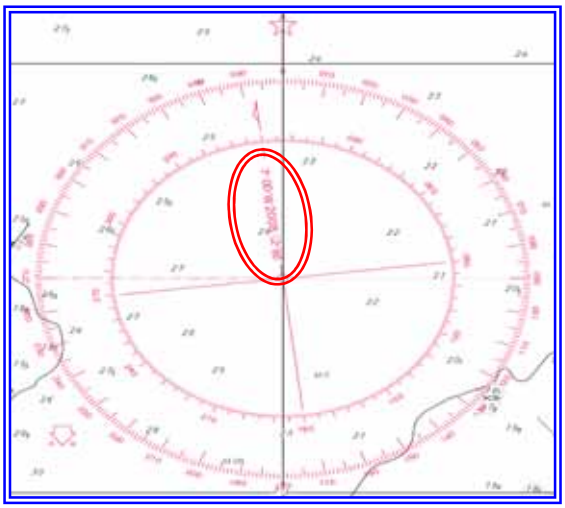
海図には、船の針路を決めるときあるいは目標物の方向を知るときに使う円状に目盛りを付けたコンパス図（compass rose：コンパス・ローズ）が描かれています。コンパス図はよく見ると外周の目盛と内周の目盛がずれた二重構造になっています。外側の目盛は真方位を知るのに使用します。真北は０度、真南は１８０度、真東は９０度、真西は２７０度といった具合です。ジャイロ・コンパスを用いる大型船などで使用されています。

小型船特にヨットのような船ではジャイロ・コンパスは積めませんから磁気コンパスが使用されます。こうした船で使われるのが、内側に描かれている目盛で、磁針方位を知るときに使用するものです。この内側の目盛は外側の目盛りと少しずれています。これを偏差といい、東側にずれているときは東偏、西側にずれているときは西偏と呼びます。このズレは海図上の位置あるいは日時の経過で変化量が異なります。

地球上の真北すなわち北極点と地磁気の真北とは異なるので、コンパスが地球上のどこにあるかによっても、また同一点であっても年月が経過するとともに偏差量が変化していき、その指し示す磁北の方向は異なります。このため、海図のコンパス・ローズの内側に次のように記載してあります。

７°００′Ｗ　２００８　（２′.０Ｗ）

これはそのコンパス・ローズの記載してあるあたりでは２００８年には西偏７°００′であり毎年西へ2分づつズレるという意味です。



日本の海図

英国の海図

米国の海図

海の情報交差点 (http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/top.htm)